平成25年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月11日

上場会社名　株式会社 ファーストリテイリング　　上場取引所　東
コード番号　9983　URL　http://www.fastretailing.com/jp/
代表者　(役職名) 代表取締役会長兼社長　(氏名) 柳井　正
問合せ先責任者 (役職名) グループ上席執行役員 CFO　(氏名) 岡崎　健　TEL 03-6865-0050

四半期報告書提出予定日　平成25年7月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年8月期第3四半期の連結業績(平成24年9月1日～平成25年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第3四半期	885,814	19.1	124,037	4.0	142,034	19.6	88,421	21.9
24年8月期第3四半期	743,541	14.0	119,323	14.1	118,807	19.2	72,517	35.8

(注)包括利益　25年8月期第3四半期　239,452百万円　(258.9%)　24年8月期第3四半期　92,496百万円　(49.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第3四半期	867.97	867.14
24年8月期第3四半期	712.13	711.56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年8月期第3四半期	910,991	613,827	65.1
24年8月期	595,102	394,892	65.0

(参考) 自己資本　25年8月期第3四半期　592,870百万円　24年8月期　386,744百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期	―	130.00	―	130.00	260.00
25年8月期	―	140.00	―		
25年8月期(予想)				140.00	280.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 8月期の連結業績予想(平成24年 9月 1日～平成25年 8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,103,000	18.8	147,500	16.6	153,500	22.6	91,500	27.7	898.09

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2社 (社名) FAST RETAILING(SHANGHAI)TRADING CO., LTD.、J Brand, Inc. 、 除外 ―社 (社名)

(注)詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年8月期3Q	106,073,656 株	24年8月期	106,073,656 株
② 期末自己株式数	25年8月期3Q	4,181,648 株	24年8月期	4,219,434 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年8月期3Q	101,871,574 株	24年8月期3Q	101,831,717 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きは実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景、前提条件等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 11
（５）セグメント情報等 …… 11
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 12
（７）重要な後発事象 …… 12
４．補足情報 …… 12
（１）部門別売上実績 …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成24年９月１日～平成25年５月31日）における連結業績は、売上高8,858億円（前年同期比19.1%増）、営業利益1,240億円（同4.0%増）、経常利益1,420億円（同19.6%増）、四半期純利益884億円（同21.9%増）でした。セグメント別では、海外ユニクロ事業が大幅な増収増益となっています。主力の国内ユニクロ事業については増収減益、グローバルブランド事業は、2012年12月にプレミアムデニムのリーディングカンパニーであるJ Brand Holdingsを子会社化した影響で大幅な増収となりましたが、利益面では横ばいとなっております。なお、当期初に比べ、為替がドルに対し、大幅な円安となったことに伴い、当第３四半期連結累計期間で為替差益178億円を計上したことから、経常利益、四半期純利益は大幅な増益となっております。

当社グループは、中期ビジョンとして「世界No.１アパレル製造小売グループとなる」ことを目標に、「グローバル化、グループ化、再ベンチャー化」を進めております。特に海外におけるユニクロ事業の拡大に力を注いでおり、中国・香港、韓国、シンガポール、台湾、マレーシア、タイ、フィリピンといったアジア地区における店舗数の拡大や、世界主要都市におけるグローバル旗艦店・繁盛店の出店により、事業基盤の強化を図っております。また、グローバルブランド事業のセオリー事業、ジーユー事業などにおいても積極的に出店を進め、事業の拡大を目指しております。

［国内ユニクロ事業］

国内ユニクロ事業の当第３四半期連結累計期間における売上高は5,416億円（前年同期比7.6%増）、営業利益は883億円（同4.7%減）と増収減益となりました。秋冬シーズンでは、ウルトラライトダウン、ヒートテック、暖パン、春夏シーズンでは、エアリズム、レギンスパンツといったコア商品のキャンペーンを実施し、当第３四半期連結累計期間における既存店売上高は前年比5.2%増でした。特に当第３四半期連結会計期間は、天候に恵まれたことから、客数が同16.0%増となり、既存店売上高は同9.3%増と高い伸び率となりました。当第３四半期連結累計期間における営業利益が減益となった要因は、売上高総利益率が前年同期比で1.4ポイント低下したこと、売上高販管費比率が0.7ポイント上昇したことによります。特に、チラシ広告など販売促進活動を強化したこと、お客様の価格志向の強さが続いたことから、値引き率が拡大し、売上高総利益率が低下しております。なお、５月末の直営店舗数は833店舗（フランチャイズ店19店舗除く）と前年同期末比５店舗増となっております。

［海外ユニクロ事業］

海外ユニクロ事業の当第３四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比56.1%増の1,913億円、営業利益は同43.8%増の196億円と、計画通り、大幅な増収増益を達成いたしました。特に、中国、香港、台湾、その他のアジアで大幅な増収増益でした。欧州事業の業績も計画通り推移いたしましたが、米国では、天候不順により春物商品の動きが鈍く、赤字額はほぼ前年と同水準に留まっております。海外ユニクロ事業の出店状況としては、中国、香港、台湾、韓国やその他のアジアで積極的な出店が進み、５月末の海外ユニクロ事業店舗数は410店舗、前年同期末比135店舗増となっております。なお６月22日にはインドネシア1号店をジャカルタに出店いたしました。

［グローバルブランド事業］

グローバルブランド事業の当第３四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比30.1%増の1,508億円、営業利益は同0.2%増の134億円となりました。ジーユー事業は既存店売上高の増収と新規出店が続いていることから、大幅な増収増益となっております。セオリー事業は上期にマーケティング経費が一時的に発生したことにより減益となっていますが、当第３四半期連結会計期間では、増益に転じました。コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセスタム・タム事業については、欧州での当第３四半期連結会計期間の天候が極めて悪かったことから、業績は計画を下回り、営業利益は減益となっております。

［ＣＳＲ活動］

当社グループのＣＳＲ活動は「社会的責任を果たす」「社会に貢献する」「社会の問題を解決し新たな価値を創造する」ことを基本方針とし、グローバルかつ地域に根ざした活動に取組んでおります。「社会的責任」の重点活動は「労働環境モニタリング」、「環境保全」です。パートナー工場には外部監査機関による「労働環境モニタリング」を定期的に実施し、建物の安全性や防火体制の確認のほか、児童労働、賃金未払い、環境汚染などがない適正で健全な労働環境の継続的な実現を目指しております。環境負荷が高い染色などを行う素材工場には「環境モニタリング」の実施や改善指導を通じ、ともに環境負荷低減に取り組んでおります。「社会貢献」では、お客様の元でご不要になったユニクロやジーユーの商品をお預かりし、世界中の服が必要な方々へ届ける「全商品リサイクル活動」をグローバルに展開しております。現在10カ国の店舗で累計2,300万点以上（2013年５月末現在）を回収し、30カ国の人々に720万点（2013年２月末現在）を寄贈しております。また教育機関とも協働でリサイクル活動を実施しております。各地域の店舗を統括するスーパーバイザーや本部社員が小・中・高等学校等で出張授業を行い、難民キャンプでの寄贈報告や学校での回収活動などを通じて、生徒たちが国際問題をより深く理解する一助となるとともに、従業員にとっても地域社会に貢献できる機会となっております。子どもたちの夢、希望、未来につながる活動への支援を目的とした「Clothes for Smiles」では、46ヶ国より寄せられた739件のアイデアから選定した８つのプロジェクトについて、発案者と実現に向けた事業計画や体制作りを進めております。また、バングラデシュで貧困・衛生・教育などの社会的課題の解決を目指す「ソーシャルビジネス」では、より多くの人々が購入できる低価格で品質の良い商品を現地で生産し、農村部の対面販売だけでなく都市部での店舗展開を通じて新たな市場開拓と雇用創出を目指しております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第３四半期連結会計期間末における総資産は9,109億円となり、前連結会計年度末に比べ3,158億円の増加となりました。これは主として、現金及び預金が396億円増加したこと、たな卸資産が201億円増加したこと、為替予約の評価益が1,871億円増加したこと、無形固定資産が436億円増加したことによるものです。

負債は2,971億円となり、前連結会計年度末に比べ969億円の増加となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が192億円増加したこと、流動負債のその他が796億円増加したこと、長期借入金が147億円増加したことによるものです。

純資産は6,138億円となり、前連結会計年度末に比べ2,189億円の増加となりました。これは主として、利益剰余金が614億円増加したこと、繰延ヘッジ損益が1,168億円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローの状況につきましては、当第３四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます）は、前連結会計年度末に比べ481億円増加し、3,141億円となりました。

営業活動による収入は、1,008億円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益1,405億円によるものです。

投資活動により支出した金額は、535億円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出196億円、新規連結子会社取得による支出267億円によるものです。

財務活動により支出した金額は、222億円となりました。これは主として、配当金の支払額274億円によるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年４月11日公表の「平成25年８月期の連結業績予想」より、修正は行っておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第１四半期連結会計期間において、FAST RETAILING (SHANGHAI) TRADING CO., LTD.を新たに設立したため、UNIQLO USA LLC、UNIQLO California LLC、UNIQLO New Jersey LLCについては今期より営業を開始し、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。また、第２四半期連結会計期間において、J Brand Holdings, LLC、JB Intermediate Holdings, Inc.、J Brand, Inc.を新規に取得したため、連結の範囲に含めております。Theory SCP, Inc.については、第３四半期連結会計期間において精算したため、連結の範囲から除外しております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更）

従来より、当社及び連結子会社が保有する有形固定資産の「建物附属設備及び構築物」の耐用年数については、３～10年の範囲内で各資産の使用実態を勘案した年数を選択し、減価償却を行ってきました。第１四半期連結会計期間において使用実態を見直した結果、従来の耐用年数よりも長期間使用可能であることが明らかとなった一部の資産については、従来の耐用年数の範囲内で変更しております。これによる当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年８月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年５月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	132,238	171,844
受取手形及び売掛金	19,920	44,943
有価証券	133,788	142,378
たな卸資産	98,963	119,125
繰延税金資産	16,987	4,469
未収還付法人税等	10,628	540
為替予約	－	164,490
その他	12,256	17,212
貸倒引当金	△268	△352
流動資産合計	424,516	664,653
固定資産		
有形固定資産	69,222	93,989
無形固定資産		
のれん	15,992	34,535
その他	22,224	47,327
無形固定資産合計	38,216	81,862
投資その他の資産	63,146	70,486
固定資産合計	170,586	246,338
資産合計	595,102	910,991
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	71,142	90,369
短期借入金	2,505	1,637
1年内返済予定の長期借入金	3,410	3,190
未払法人税等	27,738	25,243
為替予約	22,625	－
引当金	8,430	5,050
その他	37,525	117,151
流動負債合計	173,378	242,643
固定負債		
長期借入金	9,129	23,917
引当金	64	65
その他	17,638	30,537
固定負債合計	26,831	54,520
負債合計	200,210	297,163

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年８月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年５月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,273	10,273
資本剰余金	5,541	5,919
利益剰余金	419,093	480,525
自己株式	△16,003	△15,865
株主資本合計	418,905	480,853
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△16,434	△5,804
繰延ヘッジ損益	△14,532	102,303
為替換算調整勘定	△1,193	15,517
その他の包括利益累計額合計	△32,160	112,016
新株予約権	755	1,203
少数株主持分	7,392	19,753
純資産合計	394,892	613,827
負債純資産合計	595,102	910,991

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年９月１日 至　平成24年５月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年９月１日 至　平成25年５月31日）
売上高	743,541	885,814
売上原価	359,590	441,869
売上総利益	383,951	443,944
販売費及び一般管理費	264,627	319,907
営業利益	119,323	124,037
営業外収益		
受取利息及び配当金	558	411
為替差益	－	17,886
その他	1,002	699
営業外収益合計	1,561	18,997
営業外費用		
支払利息	417	400
為替差損	860	－
その他	799	600
営業外費用合計	2,077	1,001
経常利益	118,807	142,034
特別利益		
固定資産売却益	326	114
特別利益合計	326	114
特別損失		
固定資産除却損	794	250
投資有価証券評価損	116	－
買収関連費用	－	752
その他	621	576
特別損失合計	1,533	1,579
税金等調整前四半期純利益	117,600	140,569
法人税、住民税及び事業税	41,873	47,767
法人税等調整額	632	1,445
法人税等合計	42,505	49,212
少数株主損益調整前四半期純利益	75,094	91,356
少数株主利益	2,576	2,935
四半期純利益	72,517	88,421

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年９月１日 至　平成24年５月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年９月１日 至　平成25年５月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	75,094	91,356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57	10,629
繰延ヘッジ損益	16,680	116,836
為替換算調整勘定	664	20,628
その他の包括利益合計	17,402	148,095
四半期包括利益	92,496	239,452
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	90,250	232,598
少数株主に係る四半期包括利益	2,246	6,853

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年９月１日 至　平成24年５月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年９月１日 至　平成25年５月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	117,600	140,569
減価償却費及びその他の償却費	13,633	16,526
のれん償却額	4,657	3,807
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△58	△879
退職給付引当金の増減額（△は減少）	0	0
その他の引当金の増減額（△は減少）	△3,758	△4,268
受取利息及び受取配当金	△558	△411
支払利息	417	400
為替差損益（△は益）	675	△13,032
固定資産除却損	794	250
売上債権の増減額（△は増加）	△16,864	△20,031
たな卸資産の増減額（△は増加）	12,327	△4,199
仕入債務の増減額（△は減少）	8,578	10,813
その他の資産の増減額（△は増加）	4,711	△1,804
その他の負債の増減額（△は減少）	6,894	15,417
その他	△1,221	△1,488
小計	147,830	141,671
利息及び配当金の受取額	563	411
利息の支払額	△404	△324
法人税等の支払額	△31,415	△50,954
法人税等の還付額	10,051	10,038
営業活動によるキャッシュ・フロー	126,626	100,842
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,852	△19,674
有形固定資産の売却による収入	218	169
無形固定資産の取得による支出	△6,409	△3,535
敷金及び保証金の差入による支出	△6,325	△3,542
敷金及び保証金の回収による収入	2,968	1,664
建設協力金の支払による支出	△446	△2,111
建設協力金の回収による収入	1,399	1,286
預り保証金の受入による収入	59	39
預り保証金の返還による支出	△212	△287
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	―	△26,771
関係会社株式の取得による支出	△543	△1,309
その他	△32	530
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,177	△53,541

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年９月１日 至　平成24年５月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年９月１日 至　平成25年５月31日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△2,537	△1,164
長期借入れによる収入	－	15,602
長期借入金の返済による支出	△2,011	△6,107
配当金の支払額	△21,853	△27,474
少数株主への配当金の支払額	△248	△891
リース債務の返済による支出	△1,712	△2,069
その他	△30	△130
財務活動によるキャッシュ・フロー	△28,393	△22,236
現金及び現金同等物に係る換算差額	△119	23,081
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	67,935	48,145
現金及び現金同等物の期首残高	202,104	266,020
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	574	1
現金及び現金同等物の四半期末残高	270,614	314,168

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成23年９月１日　至　平成24年５月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報　（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	その他（注２）	調整額（注３）	四半期連結損益計算書計上額（注４）
	国内ユニクロ事業	海外ユニクロ事業	グローバルブランド事業（注１）				
売上高	503,286	122,572	115,911	741,769	1,771	－	743,541
セグメント利益	92,704	13,651	13,421	119,777	110	△563	119,323

（注）１　従来よりグローバルブランド事業に含まれていたキャビン事業は、平成23年２月に事業休止したことにより、当第３四半期連結累計期間には含まれておりません。

２　「その他」の区分に含まれる事業は、不動産賃貸業等であります。

３　セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していないのれん償却額△4,657百万円が含まれております。

４　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成24年９月１日　至　平成25年５月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報　（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	その他（注２）	調整額（注３）	四半期連結損益計算書計上額（注４）
	国内ユニクロ事業	海外ユニクロ事業	グローバルブランド事業（注１）				
売上高	541,672	191,328	150,840	883,841	1,972	－	885,814
セグメント利益	88,343	19,624	13,446	121,414	101	2,521	124,037

（注）１　第２四半期連結会計期間よりグローバルブランド事業に、新規に取得したJ Brand事業（「J BRAND」ブランドの衣料品販売事業）を含めております。

２　「その他」の区分に含まれる事業は、不動産賃貸業等であります。

３　セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していないのれん償却額△3,807百万円が含まれております。

４　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（７）重要な後発事象
該当事項はありません。

４．補足情報

(1) 部門別売上実績

部門	前年同四半期 （自　平成23年９月１日 至　平成24年５月31日）		当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年９月１日 至　平成25年５月31日）		（参考） 平成24年８月期	
	売上高 （百万円）	構成比 （％）	売上高 （百万円）	構成比 （％）	売上高 （百万円）	構成比 （％）
メンズ	215,989	29.0	225,077	25.4	270,435	29.1
ウィメンズ	233,558	31.4	263,214	29.7	286,079	30.8
キッズ・ベビー	28,262	3.8	28,777	3.2	32,901	3.5
グッズ・その他	16,210	2.2	15,833	1.8	19,562	2.1
国内ユニクロ商品売上合計	494,021	66.4	532,903	60.1	608,978	65.5
ＦＣ関連収入・補正費売上高	9,264	1.2	8,769	1.0	11,084	1.2
国内ユニクロ事業合計	503,286	67.7	541,672	61.1	620,063	66.7
海外ユニクロ事業	122,572	16.5	191,328	21.6	153,176	16.5
ユニクロ事業合計	625,858	84.2	733,001	82.7	773,240	83.2
グローバルブランド事業	115,911	15.6	150,840	17.0	153,031	16.5
その他事業	1,771	0.2	1,972	0.3	2,397	0.3
合計	743,541	100.0	885,814	100.0	928,669	100.0

（注）１　ＦＣ関連収入とは、フランチャイズ店に対する商品売上高、フランチャイズ店からのロイヤリティ収入であり、補正費売上高とは、パンツの裾上げ（補正）の加工賃及び刺繍プリントによる収入等であります。
２　ユニクロ事業とは、「ユニクロ」ブランドのカジュアル衣料品販売事業であります。
３　グローバルブランド事業は、コントワー・デ・コトニエ事業（「COMPTOIR DES COTONNIERS（コントワー・デ・コトニエ）」ブランドの衣料品販売事業）、プリンセス タム・タム事業（「PRINCESSE TAM.TAM（プリンセス タム・タム）」ブランドの衣料品販売事業）、ジーユー事業（「ジーユー」ブランドの衣料品販売事業）、セオリー事業（「Theory（セオリー）」、「Helmut Lang（ヘルムート・ラング）」、「ＰＬＳＴ（プラステ）」ブランドの衣料品販売事業）及びJ Brand事業(「J BRAND（ジェイブランド）」ブランドの衣料品販売事業)で構成されております。
４　J Brand事業につきましては、当第２四半期連結会計期間に新規に取得しており、前年同四半期の数値には含まれておりません。
５　その他事業とは、不動産賃貸業等であります。
６　上記金額には、消費税等は含まれておりません。